授業科目 基礎看護学概論Ⅱ （技術の概念、看護倫理、コミュニケーション）	担当講師名 専任教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前/後 1年次/前期

講義のねらい	1 看護技術・看護実践の意味を学ぶ。 2 生命の尊重を機軸に職業倫理を理解し、看護者としての責任ある行動がとれる。 3 医療をめぐる歴史を理解し、時代と変化する倫理について学ぶ。 4 看護者としての倫理的能力を養う。 5 コミュニケーションの特徴と医療におけるコミュニケーションの重要性を理解する。 6 人間関係構築のためのコミュニケーションの基本を理解し、効果的なコミュニケーションの実際を学ぶ。		
授業形態	講義・演習	教科書	担当及び時間
講義内容	1 技術の概念 1)看護技術の概念　2)看護における技術の位置付け 3)看護技術の特殊性　4)看護技術を学ぶ 5)看護技術の基本原則	❶	2
	2 看護倫理 1)看護倫理の変遷 (1)看護倫理をめぐる社会的背景　(2)看護倫理の考え方 2) 看護職と看護倫理 (1)看護倫理の法的責:職業倫理、保健師助産師看護師法 (2)患者の権利、インフォームドコンセント 3)専門職としての責務 (1)看護専門職の責務と倫理的課題 (2)倫理的課題への対応:倫理原則 (3)倫理分析の手法:ジョンセンの4分割法 ＜演習:グループワークと発表＞ ・事例より看護倫理を考える	❷	14
	3 コミュニケーション 1)コミュニケーションの意義と目的 (1)コミュニケーションとは (2)医療におけるコミュニケーション 2)コミュニケーションの構成要素と成立過程 3)関係構築のためのコミュニケーションの基本 (1)原理(2)基本的態度 4)効果的なコミュニケーションの実際 (1)傾聴の技術　(2)情報収集の技術　(3)説明の技術 (4)アサーティブネス　(5)コミュニケーション障害への対応 5)グループワーク 6)プロセスレコードの活用と実際 7)演習:看護ケア場面での実際	❶	14
教科書	❶系統別看護学講座 専門　基礎看護技術Ⅰ 基礎看護② (医学書院) ❷系統別看護学講座 別巻 看護倫理 (医学書院)		
参考文献	1 ケアの本質 生きることの意味 (ゆみる出版) 1 看護がみえるVol.基礎看護技術 (メディックメディア) 1 看護倫理 見ているものが違うから起こること (医学書院) 3 ケアの質を高める看護倫理 (医歯薬出版) 3 看護倫理 (南江堂)　3 ベッドサイドの看護倫理 事例30 (日本看護協会) 3 学生のための患者の声に学ぶ看護倫理 (日本看護協会) 5 DVD 患者のこころによりそう看護コミュニケーション 1)コミュニケーションの基本　2)効果的なコミュニケーションⅠ 3)効果的なコミュニケーションⅡ　4)ケアに生かすコミュニケーション		
評価方法	終講試験 1・3 50点 2 50点 合計100点		
備考欄	教員とのコンタクトについては、授業終了後又は終講時に案内する。		